

【学修到達目標】

- 日本語指導の現状と課題について理解することができる。
- 日本語教育用教材開発の意図と工夫について説明することができる。

1. 日本語教育教材

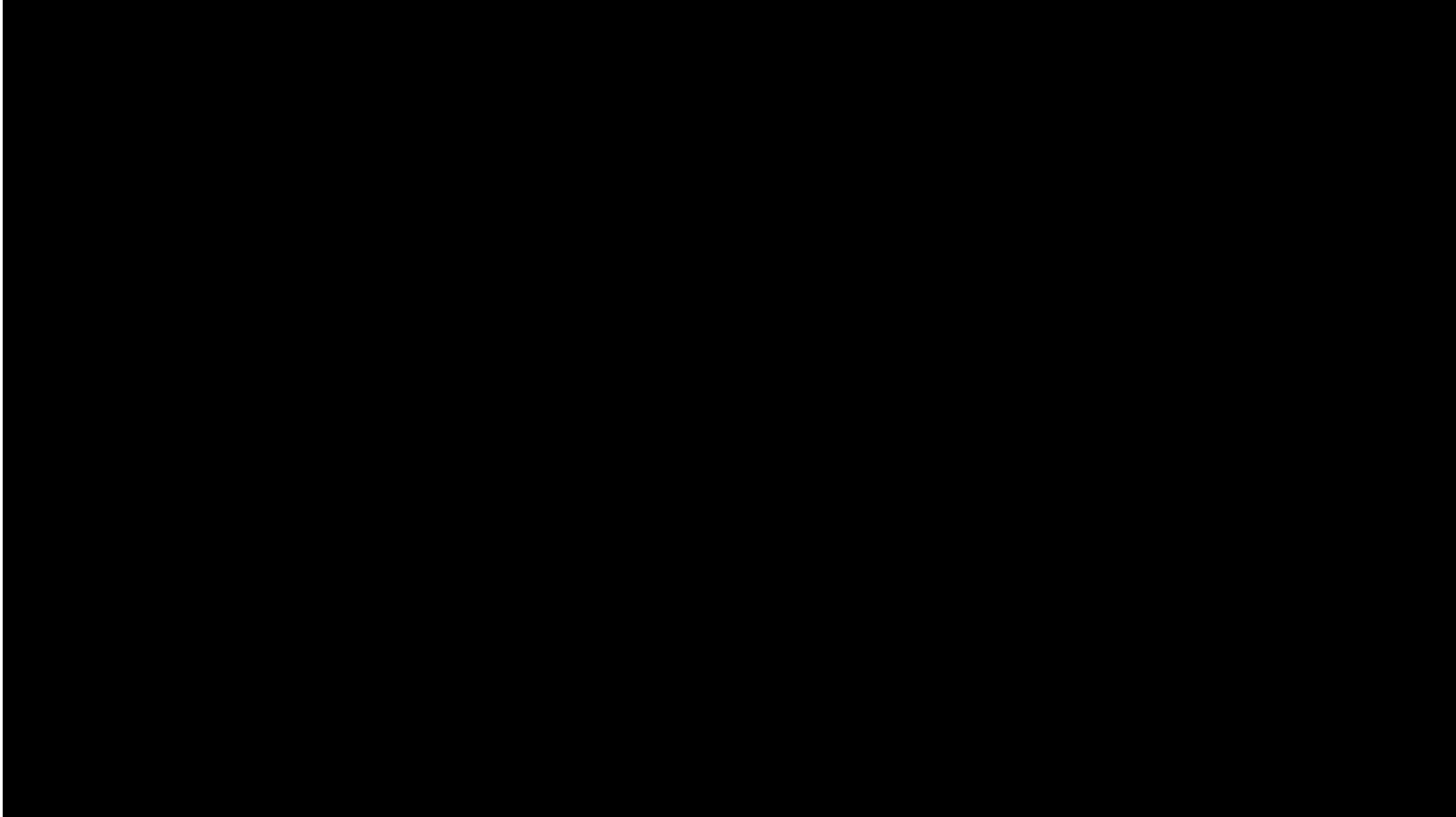
民話を活用した日本語教育教材

- 地域文化と教科の統合 → 沖縄の民話を教育教材化
- 多言語対応の教材開発 → 10言語への翻訳と朗読音声の提供
- メタバーズ図書館での学習 → 児童生徒が自由にアクセス

教材化した沖縄の民話

- ✓ 『ガジャンビラ』 (社会：貿易)
- ✓ 『ニヌファブシ』 (理科：星座)
- ✓ 『ミミチリボーシ』 (国語：数え方)
- ✓ 『ウキンジュハインジュ』 (社会：稲作)

1. 日本語教育教材



1. 日本語教育教材

開発した教材の適性や有効性を検証

- 教員や保護者
- トンガの生徒

2. メタバーズを利用した学習

地域の伝統文化を学ぶ教材

- 協働学習に活用
- 家庭学習としての利用（保護者と一緒に学習するケースも）
- 児童生徒の自主的な学習を促進

- ✓ 「楽しい」「わかりやすい」「意欲的に取り組める」と好評
- ✓ 「教科学習」「文化理解」「国際理解」の教材として期待される
- ✓ メタバーズ活用には操作性の向上が求められる

2. メタバーズを利用した学習

メタバーズの活用方法

- ✓ 遠隔地でも協働学習が可能
- ✓ 仮想空間での学び
- ✓ アバターによる学習支援

学習のメリット

- 視覚・聴覚を活用した没入型学習
- 自由に探索できる学習環境
- 異文化理解の促進

2. メタバーズを利用した学習

授業の流れ

- ✓ 民話動画の視聴
- ✓ 英語と日本語での内容確認
- ✓ 学習クイズへの取り組み

調査結果

- ✓ メタバーズの活用により、生徒の学習意欲が向上
- ✓ 日本語とトンガ語を比較しながら学習することで、異文化理解が促進
- ✓ アバターを介したコミュニケーションが、学習の心理的負担を軽減

2. メタバーズを利用した学習

メタバーズによる国際交流のメリット

- ✓ 心理的負担の軽減
- ✓ Zoomとの組み合わせ
- ✓ 学習者の主体的な取り組み

期待される成果

- ✓ 言語学習の環境として、メタバーズが有効であることを証明
- ✓ 異文化理解を促進し、国際交流の機会を広げる
- ✓ 3D空間を活用した教材開発の新たな可能性を探る

課 題

1. 日本語指導の現状と課題について説明しなさい。
2. 日本語教育用教材開発の意図と工夫について整理しなさい。